

「サイエンスカフェ in 静岡」第 171 話（2024 年 1 月 18 日）

テーマ：「光や温度を感じて生きる植物たち」

講師：木寄 暁子（静岡大学理学部生物科学科・教授）

■ 参加人数 34 名

■ アンケート回答人数 27 名

■ ご職業

会社員：2	公務員：1	教員：3	自営業：1
主婦・主夫：5	小学生：0	中学生：1	高校生・高専生：0
大学生・大学院生：0		その他：14	

■ 年齢

19歳以下：1	20歳代：1	30歳代：2	40歳代：0
50歳代：5	60歳代：7	70歳代以上：11	不明：0

■ ご住所

葵区：3	駿河区：6	清水区：11	富士市：0
焼津市：4	藤枝市：1	島田市：1	富士宮市：0
浜松市：0	静岡県内その他：1		静岡県外：0

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

継続参加による周知：16  
静大のサイエンスカフェホームページ：4  
サイエンスカフェのポスター（学校やバスで掲示されているもの）：5  
SNS を通じて（サイエンスカフェの Twitter を含む）：0  
職場などの情報回覧：3 知人の紹介：0 その他：2

■ 講演内容についてのご意見やご感想・質問などをご自由にお書きください。

（ 30歳代 ）

- 長日植物の仕組みがまるで精密な機械のようによくわかりました。

### （ 50歳代 ）

- 植物が光や温度を感じる仕組みの概要がなんとなくわかりました。たいへん興味深く拝聴させていただきました。色々わかってくるもんですね。
- 本日もありがとうございました。

### （ 60歳代 ）

- もやしのように光があたらないと、胚軸が伸びてしまう理由がなんとなくわかりました。ありがとうございました。
- 今後の希望科目は、富士山の構造と噴火。植物と虫の関係。です。
- 花芽形成の話がよく分かった。長日の時に CO タンパク質が蓄積するので花芽形成する FT が動くとする光中断が起きるとというのが腑に落ちる。後半発芽制御の話も聞いてみたかった。

### （ 70歳代 ）

- おもしろいテーマでしたが、なかなか難しくて！
- 植物は動けない。それが逆に自然を変えるのではなく、自分が合わせていくという、人間とは逆の対応をしていることを考えると、人間は、自然を変えようとしているのがどうなのか考えさせられました。まわりの環境に合わせた生き方で生きていく植物のしたたかさをもっと知りたいと思いました。日照の長さがすごく重要なのがわかりました。
- わからないことがわかる？新しいテーマが楽しみです。本日も勉強になりました。
- 庭でビワ、ホワイトプリンセスなどを育てている園芸初心者なので、植物の気持ち少しわかった気がします。「鳥が会話している」とサイエンス・ゼロ（NHK）で見ましたが、サイエンスカフェでもやって欲しいです。
- 久しぶりに研究に携わった話を聞いて良かった。
- 植物の発芽・成長・開化と様々な遺伝子の働きによって制御されているとは新しい知識を得ることができました。草花を見る見方が少し変わりそうです。ありがとうございました。
- 目に見えない因子遺伝子が働いて植物が生存しているメカニズムがわかりました。ありがとうございました。